

審議会等の会議結果報告書

課所名

環境課

会議名 令和3年度 第2回諏訪市環境審議会

開催日時 令和3年 6月22日(火) 14:00~15:20

出席者 委員:笠原 雅男委員、北原 悠二郎委員、宮原 裕一委員、宮坂 忠彦委員、藤原 芳春委員、矢崎 正子委員、伊東 克幸委員、武居 薫委員、小林 佐敏委員、佐藤 よし江委員、木村 真帆委員、大館 道彦委員、矢島 作朗委員、小泉 幸善委員(団体名五十音順)
諏訪市:金子市民環境部長、中澤環境課長、小松環境保全係長、大槻主査、笠原主査
傍聴者:0名

資料 次第、事前資料 1-1~1-4、2-1~2-2

協議議題(内容)及び会議結果(要旨)

1 開会

2 あいさつ

3 審議

(1) 環境基本計画改定に係る市民等アンケートの内容について

【質疑、意見等】

- 諏訪市の市民に二酸化炭素の排出量を周知していく必要がある。
- 膨大なアンケート量だが、今後どう活かしていくかが重要である。
- SDGs を実践していない企業等に伝えられる内容を記載いただければと思う。
- 事業所の質問で事業所周辺の清掃をしているかを聞いてはどうか。
- 市民アンケートの内容が中学生くらいのものだと答えやすいのではないか。
- 企業や市民、中学生がどういう意識を持っているかということがこのアンケートを通して知れるかと思うので結果を参考にさせていただきたい。
- 全てのアンケートで諏訪湖について、ごみがないことと水がきれいなことは別物であるため、項目を分けるべき。
- 全てのアンケートで高原や山の自然の豊かさと動植物をとりまく環境の豊かさという項目があるが違いが分からない。
- 水質に関する項目で湖と河川を同列で扱っているものと別建てにしているものがあるので統一したほうがよい。
- 再生可能エネルギー発電等の資源及び方法の問題という意味が分かりにくい。
- 物を大切に使うようにしていることは生活環境・自然環境保全に対する項目ではなく、ごみの減量やリサイクルに該当するのではないか。
- 自然環境保全への取組を表す項目が見当たらない。周囲の動植物を大切にするなど項目が考えられる。

- 外来種の説明について、国内外の外来種も念頭におくべきではないか。
- 問の表現などを少し変えてみてはどうか。森林の問題が入っていないことが気になったので検討いただきたい。
- 市民として、環境問題を実感している人も少ないと感じる。このアンケートを広く市民に周知していったほうがよいのではないか。
- SDGsに取り組む企業について、具体的な内容を記入してはどうか。
- 食品ロスに関して項目を加えてはどうか。
- 10年後や20年後にどんなまちになってほしいか聞いてみてはどうか。
- 農地や里山の保全とあるが、耕作放棄地の解消などの具体的な表現が必要ではないか。

(2) 諏訪市環境と再生可能エネルギー発電等設備設置事業との調和に関する条例（仮称）の趣旨について

【質疑、意見等】

- 文化教育施設や療養等施設の周辺への設置でも影響を及ぼすことが危惧されるため、設置が好ましくないと考える。このような区域に対しても抑制区域の指定、もし困難であれば地域や施設管理者の承諾を得るなどの必要があるものとする。
- 太陽光発電など条例化に伴い、厳しすぎる規制は「長野県ゼロカーボン戦略」の足を引っ張ることになることも考えられる。
- 地元説明会を義務付けているが、説明会を開催すればよく、地元の賛否が設置の可否に反映されない。
- 住民説明会の範囲を設置予定地から50mとあるが短すぎるように感じる。

4 その他

- (1) 諏訪都市計画道路 3・4・20号諏訪バイパス沖田大和線に係る環境影響評価準備書に対する諏訪市長意見について

5 閉会

以上